

〇〇〇議会 〇〇〇〇議長様

令和6年 2月 日

請願者

住 所

電話

紹介議員

国内すべての原発の廃止を求める請願

請願趣旨

2024年1月1日の能登半島地震により志賀原発で数々のトラブルが発生しました。

当初、北陸電力は、有意な事故はみられなかったと説明していました。しかしその後、津波が複数回到達したと訂正し、変圧器が破損し油漏れが発生し、その量は2号機で当初約3,500リットルとの発表から、実際の漏出量は5倍超の約1万9,800リットルに。さらに、油は全て建物内のせきの内側にとどまっているとの説明から、一部が海に漏れ出ていたことや約6リットルも敷地外に漏れたと訂正しました。さらに、志賀原発周辺の116カ所のモニタリングポストのうち、原発から15キロ以上離れた18カ所のデータが一時確認できなくなりました。

また、甚大なる建物被害により屋内退避が不可能となると同時に、広い範囲で道路が寸断され、避難ができない状況が発生したことで、原発に伴う避難計画自体が全く機能しないことが明らかとなりました。

もし志賀原発が稼働していたのなら、福島原発事故以上の大惨事につながっていたと考えられます。なお、13年経過しても、いまだに福島原発事故のトラブルは相次いで発生し続けています。燃料デブリの取出計画は再度延期され、その見通しも不透明となっています。

現在、国内の原発は12基が稼働中ですが、いずれも地震が発生すれば大事故を起こす恐れがあるものです。

よって、地方自治法第99条の規定により、意見書の提出を請願します。

記

請願趣旨

1. 福島原発事故及び志賀原発事故にみられるように、その甚大な危険性は明らかであり、国内すべての原発を廃止すること

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 経済産業省 内閣府 原子力規制庁